

(メモにお使い下さい。)

～愛知万博とあいちモリコロ基金の成果と理念を継承する～

新基金(仮称:中部圏地域創生ファンド) に関するフォーラム

「あいちモリコロ基金(公益信託愛・地球博開催地域社会貢献活動基金)」は、愛知万博の理念と成果を継承するために、剰余金を原資に2007年に創設されました。

これまでに中部圏において、平成28年度分までで、1494事業・およそ10億円の助成が行なわれ、地域や社会に多大な貢献をしましたが、平成29年度助成(今年10月と来年6月の募集)で終了します。

今年、愛知県が、「これからの社会貢献活動支援検討会議」を設置されました。あいちモリコロ基金に代わる基金問題も検討課題の一つとされています。

「新基金」を考えるフォーラムは3回目です。(第1回2015.9.27/第2回2016.1.30)
今回は、公益財団法人助成財団センター事務局長の渡辺元氏を迎えて、設立や運営方法、内容について議論を深めます。

南海トラフ巨大地震対策やスーパーメガリージョン時代における中部圏の地域づくりを支える「資金システムや支援・協働・連携」などについて考えます。



2016年10月7日(金) 18:30~20:40

名古屋国際センター・別棟ホール

主催:新基金賛同者ネットワーク

代表よびかけ人:稲垣隆司、奥野信宏、栗田暢之、蛇川雄司、山田雅雄

◆愛知県の「これからの社会貢献活動支援検討会議」について

平成28・29年度の2年間にわたって設置され、モリコロ基金がなくなった後をどうするかなども検討課題の一つとされています。平成28年6月8日に第1回会議が開催されました。

委員長:昇秀樹名城大学教授。委員:内川尚一名古屋商工会議所常務理事、榎田勝利愛知淑徳大学名誉教授、小川正樹一般社団法人中部経済連合会常務理事、川島毅愛知県県民生活部長、後藤澄江日本福祉大学教授、戸成司朗住友理工(株)人事総務本部CSR・社会貢献室長、中田英雄名古屋市市民経済局長、藤田哲弁護士。*50音順

問合せ先:新基金賛同者ネットワーク(事務局:NPO法人ボランティアネイバーズ)

461-0005 名古屋市東区東桜2-18-3 702 TEL 052-979-6446 FAX 052-979-6448

Email shinkikin@vns.or.jp URL <http://www.vns.or.jp/shinkikin.html>

タイムテーブル

- 18:30 開会
主催ご挨拶
蛇川 雄司 NPO法人「知多から世界へ」理事長
新基金像について
羽根田英樹 名古屋都市センター調査研究アドバイザー
- 18:45 基調講演
◆「助成財団活動から見た新基金の評価、設立や運営への提言」
渡辺 元 公益財団法人助成財団センター事務局長
◆「共助社会における資金システムとしての新基金への期待と提案」
奥野 信宏 中京大学理事・学術顧問
◆「南海トラフ巨大地震におけるNPO活動強化、官民連携・広域連携構築の必要性とその資金システムの提案」
栗田 暢之 認定NPO法人レスキューストックヤード代表理事
- 20:00 パネル討論
パネラーは、基調講演頂いた3名の方です。
討論司会
羽根田英樹
- 20:40 閉会

◆公益財団法人助成財団センターについて

1985年、任意団体の助成財団資料センターとして発足、1988年、総理府所管の財団法人となる。1996年、名称を財団法人助成財団センターに変更。公益法人改革によって、2009年8月25日に内閣府公益認定等委員会より公益財団法人への移行認定を受けた。

助成、表彰、奨学金等の事業を行う助成財団等の情報センターとして、助成を希望される方々のニーズに応えるとともに、助成財団等の運営や活動を支援することなどを通して、民間公益活動の発展・向上に寄与し、より良い社会の構築に貢献することを目的。(同団体HPより)

主催ご挨拶



蛇川雄司（じゃがわ ゆうじ）

昭和33年大学卒業し、同年愛知県に採用
昭和4年愛知県土木部長
昭和7年愛知県道路公社理事長
昭和8年愛知県顧問
平成19年愛知県道路公社顧問、同23年愛知県道路公社顧問退職
平成24年NPO法人「知多から世界へ」理事長に就任し現在に至る。
「新基金賛同者ネットワーク」代表よびかけ人。

基調講演・パネラー

※敬称は略させていただきます。



渡辺 元（わたなべ げん）

長年（公財）トヨタ財団に務め、プログラム・オフィサー、プログラム部長、事務局次長等を歴任。この間、都留文科大学非常勤講師、立教大学大学院特任教授、NPO法人市民社会創造ファンド副運営委員長などを務め、2013年1月より（公財）助成財団センターにプログラム・ディレクターとしてトヨタ財団より出向、2016年4月より事務局長を兼務し現在に至る。（公財）地域創造基金さなぶり、（公財）ちばのWA地域づくり基金の評議員も務めている。



奥野信宏（おくの のぶひろ）

中京大学理事・学術顧問、公共経済学専攻、経済学博士。京都大学大学院修士終了後、名古屋大学経済学部教授・学部長、同大副総長等を経て現職。国土審議会会長・計画部会長、国交省大都市委員会委員長、内閣府共助社会づくり懇談会座長、内閣官房ナショナルレジリエンス懇談会委員等。著書「公共の役割は何か」（岩波書店、2006年）、「地域は「自立」できるか」（同、08年）、「公共経済学第3版」（同、08年）、「新しい公共を担う人びと」（栗田氏と共著、同、10年）、「都市に生きる新しい公共」（同、12年）他。「新基金賛同者ネットワーク」代表よびかけ人。



栗田暢之（くりた のぶゆき）

阪神・淡路大震災を契機に、現在まで35箇所を超える災害現場で支援活動を展開。またその現場での学びを生かし、地域防災力の向上や災害ボランティアの育成等に尽力している。2000年東海豪雨水害時は「愛知・名古屋水害ボランティア本部」の本部長を務めた。東日本大震災支援全国ネットワーク代表世話人、愛知県被災者支援センター長を兼任するほか、愛知県地震対策有識者懇談会委員、愛知・名古屋国土強靱化計画会議委員なども歴任。「新基金賛同者ネットワーク」代表よびかけ人。

討論司会



羽根田英樹（はねだ ひでき）

名古屋大学大学院工学研究科卒業後、1973年名古屋市役所に就職。主に街路計画、都市計画、都市開発計画に携わる。都市センター調査課長、住宅都市局街路計画課長、総務局企画部長、同理事、上下水道局次長を歴任。現在、名古屋市立大学非常勤講師などをつとめる。
「新基金賛同者ネットワーク」よびかけ人・幹事。